

▶ NEWS

新潟医療福祉学会 ◀

【第10回 新潟医療福祉学会学術大会】
の開催報告理学療法学科
学科長 大西 秀明

第10回新潟医療福祉学会学術大会が2010年10月30日(土)に新潟医療福祉大学にて開催されました。新潟医療福祉学会は医療・健康・福祉分野の連携、共同研究の発展のために平成13年に発足し毎年学術大会を開催しています。今年で10回目を迎える本学術大会は、理学療法学科が準備・運営を担当しました。メインテーマを「ライフ・イノベーション」とし、医療・健康・福祉関連職種が、健康長寿社会の実現に向け、新しい成果を社会に還元していくきっかけになることを狙いとししました。

午前中には、10周年記念講演と口述発表のセッションを設けました。10周年記念講演として山本正治会頭(新潟医療福祉大学学長)から「予防医学研究40年の経験を通して語るこれからの保健・医療・福祉問題-ライフ・イノベーションの視点から-」と題してご講演頂き、幅広い視点から保健医療福祉に関する問題点と課題を提示



写真1 10周年記念講演(山本正治会頭)

して頂きました(写真1)。その後、一般口述発表セッションでは、健康科学系(大山峰生座長)と社会福祉系(丸田秋男座長)の二分野に分かれ、それぞれ5演題の大変興味深い発表がありました。

午後からは、ポスター発表と特別講演、シンポジウムを企画しました。ポスター発表では38演題の発表があり、一つのフロアに多方面の専門家が募り、有意義な意見交換の時間を設けることができました。特別講演では、木竜徹先生(新潟大学大学院自然科学研究科教授)から「自分にふさわしい運動をいつでもどこでも-個人向け運動支援ユビキタスシステムの開発課題と実現へのアプローチ-」についてご講演頂きました。経験則から実施されることが多い様々な運動処方に対して一石を投じて頂き、これからの医療・健康・福祉関連職種が実現すべきライフ・イノベーションのきっかけを示して頂きました(写真2)。シンポジウムでは、「ライフ・イノ



写真2 特別講演(木竜徹先生)

ベーションを支えるスーパー専門職」と題し、医療(理学療法学科、言語聴覚療学科)、栄養(健康栄養学科)、スポーツ(健康スポーツ学科)、福祉(社会福祉学科)の分野で、よりに深く専門性を追求している5名の先生方から健康長寿社会に向けた様々な取り組みについて提示して頂き、ライフ・イノベーションに向けた議論を深めることができました(写真3)。

本学会のいずれの発表やシンポジウムも、今後の日常生活における臨床・教育活動に役立つ情報であり、普段は触れることの少ない他分野の最新情報を得ることができる貴重な機会となり、会場からも多数の質問が寄せられ、時間が足りなくなるほど充実した学会となりました。

また、今大会から、山本会頭のご厚意・ご寄付を賜り

まして、優秀な演題発表に対して会頭賞（1題以内）と奨励賞（5題以内）が副賞付きで授与される予定でした。厳選な審査の結果、残念ながら会頭賞の受賞者はいませんが、奨励賞5題が選定され、表彰状と副賞を授与されました。これを機として、次年度以降もより活発な議論が成されることを期待しています。

参加者は学会員だけでなく、学生や非会員を含め約200名と過去最多の参加者数でした。今後も、本学会が医療・健康・福祉分野の連携・発展、さらに共同研究の推進となること、また学生・大学院生にとって研鑽の場となりますよう祈念しております。

最後になり、誠に恐縮ではありますが、本学会にご支援、ご協力下さいました皆様、本大会の準備・運営を頂きました理学療法学科のスタッフ（写真4）には深く感

謝申し上げます。

奨励賞

1. 新潟リハビリテーション病院リハビリテーション部
佐藤 大樹
2. 新潟医療福祉大学運動機能プロジェクト研究センター
小松 聡子
3. 新潟医療福祉大学大学院保健学専攻義肢装具自立支援学分野
阿部 真典
4. 新潟医療福祉大学医療経営管理学部医療情報管理学科
森脇 健介
5. 新潟医療福祉大学医療技術学部理学療法学科
地神 裕史



写真3 シンポジウム
(西原康行先生(座長)、亀尾徹先生、横山豊治先生、渡邊榮吉先生、渡邊時生先生)



写真4 準備・運営スタッフと山本会頭

第10回 新潟医療福祉学会 総会 議事録

<日時> 平成22年10月30日(土) 12:20~12:40

<場所> 新潟医療福祉大学 G A101教室

1. 開会の言葉：長谷川利夫副理事長により開会が宣言された。
2. 議長任命：会則第17条8項により、本大会長（新潟医療福祉大学理学療法学科長）大西秀明教授が議長に任命された。
3. 挨拶：山本正治会頭よりご挨拶をいただいた。
4. 定足数報告：会員総数276名のうち、総会出席者数が65名、委任状提出が107名、あわせて172名であり、会員総数の過半数を満たし、総会の成立が確認された。
5. 書記任命：森脇健介理事が書記として任命された。
6. 議事録署名人任命：新潟医療福祉大学理学療法学科 久保雅義教授及び相馬俊雄准教授が議事録署名人として任命された。
7. 議 事：
 - ・第1号議案 平成21年度事業報告
豊田理事長より、1) 会員獲得・会費徴収、2) 新潟医療福祉学会誌の発行、3) 第9回新潟医療福祉学会の開催、4) その他・会則改訂、について活動実績の報告がなされ、本議案は異議なく承認された。
 - ・第2号議案 平成21年度決算報告および監査報告
山田まりえ理事より平成21年度の決算報告がなされ、本議案は異議なく承認された。その後、佐藤厚評議員（会計監事）より、平成21年度監査報告が行われ、収支決算報告書および役員の会務執行状況に関して不正行為、法令もしくは会則に違反する事実が無いことが報告され、本議案は異議なく承認された。
 - ・第3号議案 平成22年度事業計画（案）
豊田理事長より、平成22年度事業計画（案）についての説明がなされ、本案は異議なく承認された。
 - ・第4号議案 平成22年度予算（案）
山田理事より平成22年度予算（案）の説明がなされた。会員より論文誌発行数の設定根拠についての質問があり、豊田理事長より、会員数はこれまでの配布実績数等を勘案した上決定したものである旨説明がなされた。本案は承認された。
 - ・第5号議案 その他
新潟医療福祉大学言語聴覚学科長 糟谷政代教授が次期大会長として選出され、糟谷次期大会長より挨拶がなされた。
8. 閉会のことば：大西秀明大会長により閉会が宣言された。

書 記 : 森 脇 健 介

議事録署名人 :

久保雅義 (久保)
相馬俊雄 (相馬)